

# 麻酔チューブ挿入法に関する説明書・同意書

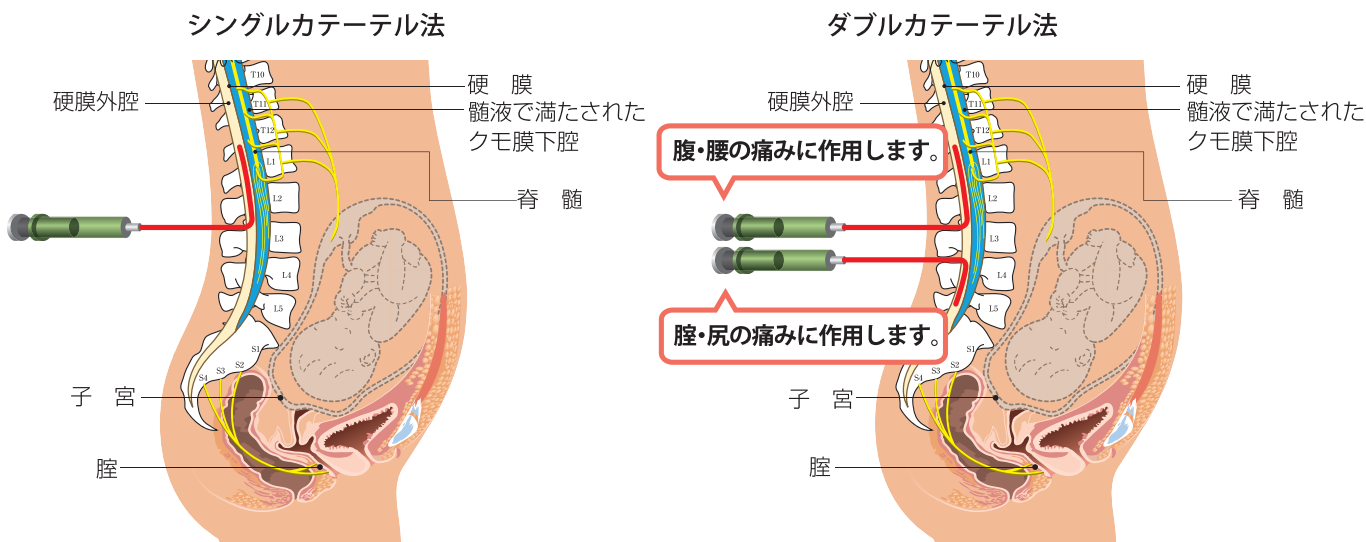
当院の無痛分娩では背骨の中の硬膜外腔と呼ばれるスペースに細いチューブを入れて、そこから麻酔薬を注入します。麻酔チューブについては1本入れる方法(シングルカテーテル法)と2本入れる方法(ダブルカテーテル法)があります。

## (1)シングルカテーテル法

多くの産科病院では、この方法が行われています。約8割のケースでは無痛分娩としてうまくいくのですが、残りの2割では「お尻や膣の痛みが軽くない」と辛い思いをする産婦さんがいらっしゃいます。一方でチューブを入れる操作は1回で済みますので、チューブ挿入時の負担(皮膚に痛み止めをするときの注射の苦痛感、所用時間)は少なくなります。また頭痛が発生する可能性も二分の一になります。

## (2)ダブルカテーテル法

陣痛の痛みを伝える神経は主に2カ所に分かれていますので、それぞれの神経に近づけて麻酔チューブを1本ずつ配置します。痛みの場所に合わせて麻酔薬を投与できるので麻酔効果や満足度は高いのですが、チューブを挿入する際の負担がシングルカテーテル法の2倍になります。



※シングルカテーテル法で開始された産婦さんが分娩途中でチューブの追加挿入を希望された時、対応できない場合があることをご了承下さい。

①②の選択につきましては、妊婦さんご家族様のご希望でお決め下さい。

下記の選択肢のいずれかに○をご記入下さい。

無痛分娩については下記の方法を希望します。

( )シングルカテーテル法

( )ダブルカテーテル法

年 月 日

患者氏名 \_\_\_\_\_

親族氏名 \_\_\_\_\_